

## 2021年ミヤマキリシマ開花情報まとめ

調査日	場所	開花状態
5月29日	狛師岳・合頭山 (1423.1m・1384m)	見ごろ
5月29日	指山 (1449m)	見ごろ
5月29日	立中山 (1464.5m)	見ごろ
6月2日	沓掛山 (1503m)	見ごろ
6月2日	黒岩山 (1502.5m)	見ごろ
6月2日	上泉水山 (1447m)	見ごろ
6月8日	平治岳 (1643.0m)	見ごろ
6月10日	北大船山・段原 (1706m)	見ごろ
6月10日	稲星山 (1774m)	見ごろ
6月15日	大船山 (1786.3m)	見ごろ
6月15日	久住山・中岳 (1786.5m・1791m)	見ごろ
6月15日	三俣山 (1744.3m)	見ごろ
6月15日	扇ヶ鼻 (1698m)	見ごろ
6月17日	星生山 (1762m)	見ごろ

2021年ミヤマキリシマ開花情報を総括しますと、例年とほぼ同じ開花スピードでした。マンサクや桜などが早い開花でしたが、4月から5月上旬にかけて気温が低く、5月2日には三俣山山頂付近に霧氷が付くなど寒かったこともあり、例年並みの開花になったと思われます。今シーズンの花の付き方は株ごとに咲くのではなく、1株の中に花とつぼみと枯れた花が混在する咲き方でした。毎年ミヤマキリシマを見に登山されている方によりますと、「昨年に比べると見映えが若干劣る感じ」と言っていました。今シーズンは天候にも恵まれ6月下旬まで楽しめました。また、立中山や三俣山など虫の被害が見られました。被害が来シーズンに及ばないことを祈るばかりです。

5月下旬になり標高1400m級の山々で見ごろを迎え、立中山、指山や狛師岳などきれいに咲き誇りました。6月に入り1500m級の山々で見ごろを迎えました。立中山、指山、狛師岳、黒岩山や沓掛山は6月上旬まで楽しめました。6月上旬に入り、平治岳が見ごろを迎え多くの登山者が山頂を目指しました。6月5日6日が土日だったこともあり、大変多くの方が平治岳山頂に登り、ミヤマキリシマを満喫されたと思います。6月上旬から中旬にかけて1600m級の山々で見ごろを迎え、星生山中腹がピンク色に染まり長者原からも見る事ができました。6月中旬に入り1700m級の山々が見ごろを迎え、大船山、扇ヶ鼻や三俣山などの山頂付近も見ごろを迎えました。天気も周期的に変わり、天気の良かった19日（土）、20日（日）は多くの方が扇ヶ鼻や三俣山山頂を目指していました。1700m級の山々の山頂付近では6月下旬まで楽しめ、多くの方が満足されたと思います。





5/29 獵師岳 ↑



5/29 指山 ↑



6/2 黒岩山 ↑



6/2 上泉水山 ↑



6/2 平治岳 ↑



6/8 平治岳 ↑



6/10 段原・北大船山 ↑



6/10 稻星山 ↑





6/15 扇ヶ鼻 ↑



6/21 扇ヶ鼻 ↑



6/15 三俣山 ↑



6/22 三俣山 ↑



6/17 星生山 ↑



6/21 星生山 ↑

ミヤマキリシマ開花情報は、くじゅうファンクラブスタッフが直接収集したもののほか、くじゅうネイチャーガイドクラブ様、大分西部森林管理署グリーンサポートスタッフ様、環境省くじゅう管理官事務所アクトイブレンジャー様のご厚意で提供いただきました。ありがとうございました。